

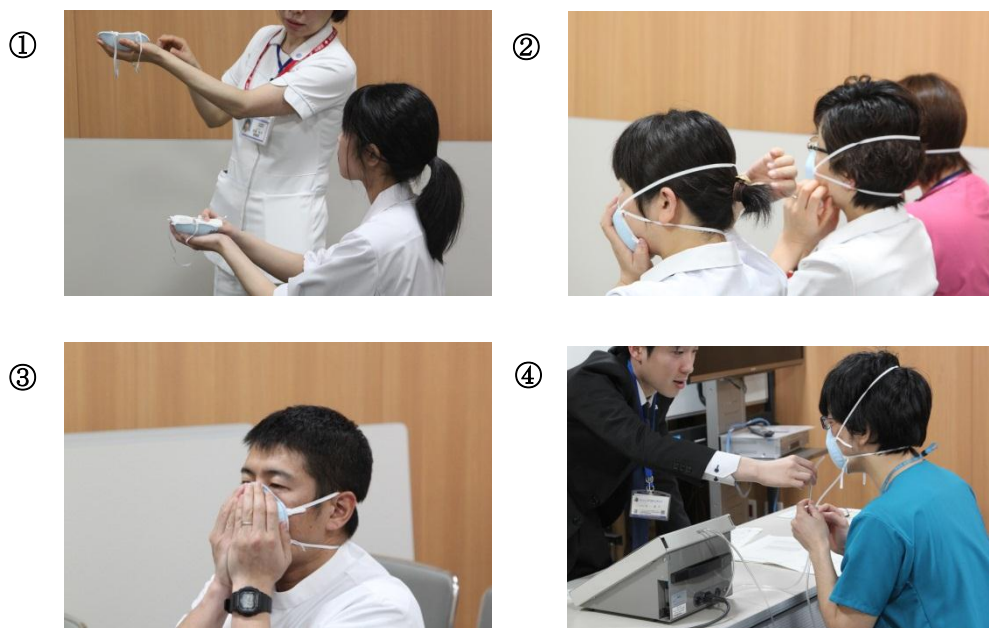
N95 マスクフィットテスト実施について

大崎市民病院では 4 月 24 日、25 日の二日間にわたり N95 マスクのフィットテストを実施しました。今年度は延べ 155 名がテストに参加して頂きました。ご協力ありがとうございます。今回のテスト結果は感染管理室で保管・管理していますので、もし自分にフィットするマスクの商品名を忘れた際には感染管理室に問い合わせてください。

この号の内容

- 1 N95 マスクフィットテスト実施について
- 2 N95 マスク脱着時の注意点等

N95 マスク装着訓練風景およびフィットテスト風景



当院採用の N95 マスク一覧と商品名



1870
(3M)



ハイラック 350
(興研)
第一選択マスク



1860S
(3M)



DD01-95-2
(重松)

不適切マスク使用例



腕マスク



顎マスク



鼻マスク

N95 マスク脱着時の注意点等

N95 マスクは医療用マスク規格と勘違いされがちですが、本来は製造業労働者用のマスク規格です。N95 マスクとは米国 NIOSH (National Institute of Occupational Safety and Health:米国労働衛生研究所) が定めた N95 規格を満たすマスクを指し、「N」は Not resistant to oil に由来し耐油性が無い事を示し、「95」は一般的に最も捕集しにくい粒子径 $0.3\mu\text{m}$ の粉塵を 95%以上捕集出来る事を指し示しております。N95 マスクのフィルター能は高いため厚生労働省が発行する「医療施設における感染対策ガイドライン」では空気感染予防には N95 マスクの装着を推奨しております。このように N95 マスクは感染対策上重要な防護具ではありますが、装着手技が未熟な場合や個々の顔にフィットしないマスクを選択した場合において感染リスクの上昇が考えられます。そこで感染管理室では年に 1 度病院内に専用の測定器械を借り、個人の顔にフィットする N95 マスクを当院採用の 4 種より選定するフィットテストを実施しております。(写真④) このフィットテストは測定器械を借りる関係上、常に実施できるわけでないため、興味のある方は来年度のフィットテスト参加をお願いします。またフィットテスト実施の有無によらず N95 マスク装着時には必ず、ユーザーシールチェックを行う必要があります。ユーザーシールチェックとはマスクと顔の密着性を確認する目的で、マスクに手を当て、息を吸ったり吐いたりすることで隙間がないのを確認する事を指します。(写真③) N95 マスク装着の際にはユーザーシールチェックを忘れないようにお願いします。

マスク使用後はマスク表面には病原菌ないしはウィルスが付着している可能性があります。そのため取り外しの際にはマスクの表面に触れないように心がけ、感染性ゴミ箱へ捨てた後に手指衛生実施をお願いします。この事は N95 マスクのみならず普段使用しているサージカルマスクにも当てはまりますので、マスクを外した際にマスクをポケットに入れたり、マスクを腕に通たりせずに感染性ゴミ箱に破棄してください。また時折、就労時使用していたマスクを装着したまま帰宅される職員がいるとの報告を受けるときがありますが、ご家族に感染伝播する危険がありますのでマスクを取ってからの帰宅をお願いします。マスク由来か不明ですが、実際に医師や看護師の子供は非医療従事者の子供に比べ薬剤耐性菌を保菌している傾向にあることが報告されています。*

*小森由美子ら 環境感染誌 Vol.20 no.3, 2005

小森由美子ら 環境感染誌 Vol.23 no.4, 2008